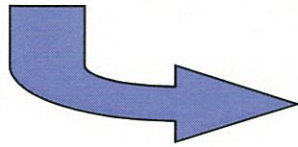


バイパスの開通により、住宅地内の安全性が向上 — 県道石岡田伏土浦線バイパスの全線開通(かすみがうら市志戸崎) —



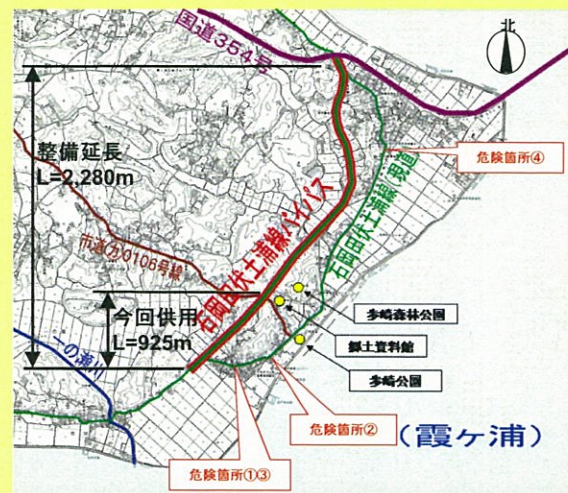
【課題】

●かすみがうら市内の石岡田伏土浦線は、霞ヶ浦湖岸沿いを通過する幹線道路であり、当地区の現道は、住宅地が隣接し 幅員狭小・カーブ区間が多く、大変危険な状況であったことから、バイパスの整備を行いました。

【整備効果】

- 交通の主な流れがバイパスに転換されることで、住宅地内の交通量が減り、安全性が向上しました。
- 住宅地内の事故減少が期待され、通学児童を始めとした歩行者や自転車が安心して通行できるようになりました。
- バイパスにより、坂・志戸崎地区から国道354号までの所要時間が短縮され、周辺に立地する観光施設へのアクセスが向上しました。

周辺道路網図



現道の通行危険箇所



【事業概要】

- ・事業箇所: かすみがうら市 田伏～坂～志戸崎
- ・事業延長: L=3,205m
 H15.7.17一部開通 L=2,280m
 H24.3.22全線開通 L=925m
- ・幅員: W=12.0m (2車線、両側歩道)
- ・事業期間: 平成1～23年度
- ・総事業費: 約16億円